

『文様えほん』 谷山彩子作 あすなろ書房 2017

新年度から1ヶ月がたちましたね。みなさん、学校や新しいクラスにだんだんなじんでいるころでしょうか？勉強や部活の気分転換にでもかまいませんよ、図書館をどんどん利用しにきてくださいね

さて、今月は…

みなさんは「文様」てきいたことありますか？お家の中や、学校の中…ふとあたりをよく見渡すと、じつはあちこちに「文様」てあるんです！文様は、「着るものや日用品、建物などを飾りつけるために描かれた模様のこと」です。身近でいうと、そう、お花を生けてある花瓶や、和室のある人は、畳を見てみてください、あの畳の枠の部分、何か模様が入っていませんか？その模様も文様なのです。そして、みんなラーメンを食べるとき、丼鉢のあの淵に描かれたよく見る模様！これは中国から来た模様で雷の意味をもつ、「雷文」といいますが、これも文様です！ほら、意外と身の回りに文様ってあるでしょ？そんな文様のことをくわしく書いてあるのがこの本『文様えほん』！文様は、植物だったり、動物だったり、いろんな形をしているものがありますが、ぜんぶその絵柄やデザインは、名前があったり、意味があったり、なかにはなにかのシンボルになっているものもあります。そして、文様のいーちばんはじめは、なんと一本の線だったって知っていましたか？一本の線を曲げたり、並べたりしてだんだんと模様が出来ていきました。そして、そこに、日頃の暮らしで使っていた道具（たとえば漁で使う網や収穫物を入れる竹かごなど）や日々目にする草花の形が加わって、いまもよくみるあの複雑な模様が出来ていったんだそうです。なので、文様はその時代の歴史や暮らしを表しているものでもあります。また、文様は行事や暦にまつわる模様もたくさんあります！縁起がいいとされているものや、季節を表しているものは、日本人特有の四季や行事ごとを大切にすることが込められていますね。文様は、家の中だけではなく街の中にも、隠れています。マンホールだったり、お店の看板やのれん、家の周りを囲む石垣、そして、街ゆく人たちの服装や、お店の人の制服、着物…普段なにげなく見ている模様は文様だったんだと、そして文様ってこんなに種類があるの？（この本には300種の文様がのっています！）ときくと驚きますよ。そして、ちゃんと文様ひとつひとつに名前があるのもおもしろいですね！あなたが今身につけているものや、持っているものにも文様が隠されているかもしれませんよ。その模様にはどんな意味や歴史が隠されているのかな？ぜひ、この本を開いてみてください。

おまけ：この背景も実は文様。この文様は北欧の文様なのだそうです。北欧や中欧、トルコ、ペルシャなど、ヨーロッパの文様は花や鳥などかわいい模様がたくさんあります。日本の文様とはまた雰囲気ですこしちがいますね。『デザイン素材集・世界の文様 ロイヤリティフリー素材728点収録』誠文堂新光社 2008よ